

CASBEE-広島 2014年版		■使用評価マニュアル：CASBEE-広島 2014年版						
広島ガス株式会社(仮称)防災センタービル		■評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)						
欄に数値またはコメントを記入								
スコアシート		実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質						3.4		
Q1 室内環境			0.40		-	3.2		
1 音環境		3.6	0.15	-	-	3.6		
1.1 騒音		コンクリート造の外壁、気密性の高いサッシを使用	4.0	0.40	-	-		
1.2 遮音			3.0	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能			3.0	0.60	3.0	-		
2 界壁遮音性能			3.0	0.40	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音		ロックウール吸音天井材、タイルカーペット床を使用	4.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境			3.0	0.35	-	-	3.0	
2.1 室温制御			3.0	0.50	-	-		
1 室温			3.0	0.38	3.0	-		
2 外皮性能			3.0	0.25	3.0	-		
3 ゾーン別制御性			3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御			3.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式			3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境			3.1	0.25	-	-		3.1
3.1 昼光利用			3.0	0.30	-	-		
1 昼光率			3.0	0.60	3.0	-		
2 方位別開口			-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備			3.0	0.40	3.0	-		
3.2 グレア対策			3.0	0.30	-	-		
1 昼光制御			3.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度		全般照明で照度500lx以上を確保	4.0	0.15	3.0	-		
3.4 照明制御			3.0	0.25	3.0	-		
4 空気質環境			3.5	0.25	-	-	3.5	
4.1 発生源対策			4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆材料をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	3.0	-		
2 アスベスト対策			-	-	-	-		
4.2 換気			3.0	0.30	-	-		
1 換気量			3.0	0.33	3.0	-		
2 自然換気性能			3.0	0.33	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.33	3.0	-		
4.3 運用管理			3.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視			3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御			3.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	4.1	
1 機能性			3.6	0.40	-	-	3.6	
1.1 機能性・使いやすさ			3.3	0.40	-	-		
1 広さ・収納性		1人当たりの執務スペースが10.14㎡	4.0	0.33	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応			3.0	0.33	3.0	-		
3 バリアフリー計画			3.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性			4.3	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		事務室の天井高さ3.0m、執務者が屋外の情報を得られるよう窓設置	5.0	0.33	3.0	-		
2 リフレッシュスペース		執務スペースの3.11%のリフレッシュスペース＋自販機置場を設置	5.0	0.33	-	-		
3 内装計画			3.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理			3.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		外壁面は防汚性の高い建材、外部の露出する金属はメッキ処理等	4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-		
3 衛生管理業務			-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性			4.3	0.30	-	-	4.3	
2.1 耐震・免震			5.0	0.50	-	-		
1 耐震性		建築基準法告示に定める1.5倍相当の耐震性を有する	5.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能		免震装置を導入している	5.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			3.1	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		タイルカーペット、壁塗装の更新必要間隔15年	4.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管：ライニング鋼管、消火：SGP、冷媒管：銅管	4.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-		

2.4	信頼性			4.6	0.20	-	-			
	1	空調・換気設備	サーバ室等重要諸室は空調の二重化、発電機によるバックアップを行う 中水槽、非常用排水槽を設置 発電機、無停電電源装置を設置 耐震クラスS ネットワーク機器用に無停電電源装置を設置	5.0	0.20	-	-			
	2	給排水・衛生設備		5.0	0.20	-	-			
	3	電気設備		4.0	0.20	-	-			
	4	機械・配管支持方法		5.0	0.20	-	-			
	5	通信・情報設備		4.0	0.20	-	-			
3 対応性・更新性				4.4	0.30	-	-	4.4		
3.1	空間のゆとり			4.6	0.30	-	-			
	1	階高のゆとり	階高5.0m、5.4mを確保	5.0	0.60	3.0	-			
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.188	4.0	0.40	3.0	-			
	3.2 荷重のゆとり		5,000N/m2	5.0	0.30	3.0	-			
	3.3 設備の更新性			4.0	0.40	-	-			
	1	空調配管の更新性	構造部材を痛めることなく更新が可能 床はOAフロア、必要箇所に天井点検口、天井懐が大きい為更新が容易 床はOAフロア、必要箇所に天井点検口、天井懐が大きい為更新が容易 機器の大半を屋上に設置	3.0	0.20	-	-			
	2	給排水管の更新性		4.0	0.20	-	-			
	3	電気配線の更新性		5.0	0.10	-	-			
	4	通信配線の更新性		5.0	0.10	-	-			
	5	設備機器の更新性		5.0	0.20	-	-			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	3.2		
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0		
2 まちなみ・景観への配慮			壁面位置、外装・屋根・開口部の形状や色彩において周辺環境に調和	5.0	0.40	-	-	5.0		
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50	-	-			
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-			
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.5		
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.6		
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	0.20	-	-	3.0		
2 自然エネルギー利用			風力自然換気窓を設置	4.0	0.10	-	-	4.0		
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 0.74 住宅(専有部) -	4.0	0.50	-	-	4.0		
集合住宅以外の評価(3a.3b)			高効率型機器を多数採用	4.0	1.00	-	-			
集合住宅の評価(3c)				-	-	-	-			
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0		
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-			
4.1	モニタリング	3.0		0.50	-	-				
4.2	運用管理体制	3.0		0.50	-	-				
集合住宅の評価				-	-	-	-			
4.1	モニタリング	3.0		-	-	-				
4.2	運用管理体制	3.0		-	-	-				
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-		-	3.5
1 水資源保護					3.4	0.20	-		-	3.4
1.1 節水			自動水栓、節水型衛生器具の採用	4.0	0.40	-	-			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-				
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-				
2 非再生性資源の使用量削減				3.7	0.60	-	-	3.7		
2.1 材料使用量の削減			基礎コンクリートに高炉スラグ微粉末を使用した低炭素型コンクリートを採用 地盤改良杭の中詰材料他に再生砕石を使用	3.0	0.10	-	-			
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				5.0	0.20	-	-			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-			
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-			
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0		
3.1 有害物質を含まない材料の使用			接着剤には有害物質を使用しない	4.0	0.30	-	-			
3.2 フロン・ハロンの回避				2.6	0.70	-	-			
1	消火剤		2.0	0.33	-	-				
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-				
3	冷媒		3.0	0.33	-	-				
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-		3.4	
1 地球温暖化への配慮			運用時のCO2排出量を抑制	3.8	0.33	-	-	3.8		
2 地域環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2		
2.1 大気汚染防止			雨水流出抑制施設を設置 駐輪場を設置、設備搬入車両スペースを設置、車出入口を分散配置 ごみの多種分別回収が可能なストックスペースを確保	3.0	0.25	-	-			
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-			
2.3 地域インフラへの負荷抑制				4.0	0.25	-	-			
1	雨水排水負荷低減			4.0	0.25	-	-			
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-			
3	交通負荷抑制			5.0	0.25	-	-			
4	廃棄物処理負荷抑制			4.0	0.25	-	-			
3 周辺環境への配慮					3.2	0.33	-		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			光害対策チェックリストの過半を満足。広告物照明を行っていない	3.0	0.40	-	-			
1	騒音	3.0		0.33	-	-				
2	振動	3.0		0.33	-	-				
3	悪臭	3.0		0.33	-	-				
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-			
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-			
2	砂塵の抑制			3.0	-	-	-			
3	日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-			
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			5.0	0.70	-	-			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-			